様式第六（第八条関係）

特定施設設置届出書

年 月 日

公共下水道管理者 殿

申請者

住 所

電話番号

氏名又は名称及び

法人にあっては

その代表者の氏名

下水道法第 12 条の 3 第 1 項（下水道法第 25 条の 30 第 1 項において準用する同法第 12 条の 3 第 1 項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
△特定施設の構造	別紙（1）のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙（2）のとおり。	※備考	
△汚水の処理の方法	別紙（3）のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙（4）のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙（5）のとおり。		

備考

- 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。

記入上の注意

- (1) 「年月日」
届出を行う年月日を記入して下さい。
- (2) 「申請者の住所、電話、氏名」
 - ① 法人の場合は本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入して下さい。
 - ② 申請者が個人にあつては、屋号を含めて記入して下さい。
 - ③ 申請者が法人にあつては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入して下さい。
 - ④ 法人の工場等が申請者となる場合、名称は工場名迄記入し、代表者は工場長とし、法人の代表者から工場長あての委任状を添付して下さい。
 - ⑤ 申請者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- (3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」
当該特定施設を設置しようとする事業場の名称及び所在地を記入して下さい。
- (4) 「特定施設の種類」
水質汚濁防止法施行令別表第 1 及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第 2 に掲げる特定施設番号及び施設名（特定施設の種類の種類が複数ある場合は、全ての特定施設）を記入して下さい。
- (5) 「△特定施設の構造」等
 - ① 「特定施設の構造」
 - ② 「特定施設の使用の方法」
 - ③ 「汚水の処理の方法」
 - ④ 「下水の量及び水質」
 - ⑤ 「用水及び排水の系統」①～⑤に関しては、別紙 (1) ～ (5) を添付して下さい。

記入上の注意

- (1) 「特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置」
- ① 「名称」
特定施設の番号及び名称（別表参照）並びに特定施設を構成する各種装置を記入してください。
- ② 「型式」・「構造」・「主要寸法」
特定施設を構成する各種装置別に記入して下さい。
- ③ 「能力」
主な製品名、大きさ並びに単位時間あたりに製造又は加工等ができる数量を記入して下さい。
また、槽の場合は有効容量を記入して下さい。
- ④ 「備考」
特定施設及び各種装置の数その他必要な事項を記入して下さい。
- ※事業場内の特定施設の配置図を添付図-1として添付して下さい。

記入上の注意

イ 「特定施設の設置場所」

添付図-1 で事業場全体図（平面図等）に特定施設・処理を要する排水にかかわる施設の設置場所及び事業場汚水と用水の系統を色分けして記入して下さい。また、汚水及び用水の系統には下水に関連する排水口の位置及び番号又は名称を記入して下さい。

ロ 「特定施設を含む操業の系統」

添付図-2 に特定施設を含めた原料から製品迄の作業工程（フローシート）を記入して下さい。
その場合汚水、用水及び給水の個所を明記して下さい。

ハ 「特定施設の使用時間間隔及び1日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」

① 「名称」

特定施設の番号及び名称を記入して下さい。

② 「使用時間間隔」

通常に特定施設を使う時間帯を記入して下さい。

③ 「1日当りの使用時間」

1日当りに特定施設を使う延べ時間を記入して下さい。

④ 「季節変動の概要」

週間、月間、年間等で大きな変動がある場合に記入してください。

⑤ 「備考」

変更届の際は、何が変更になったのかを記入してください。

ニ 「特定施設を含む作業工程において使用する原材料」

① 「名称」

特定施設及び処理を要する排水にかかわる施設の名称を個々に特定できるように記入して下さい。

② 「使用原材料の種類」

特定施設において使用する原材料を種類別に記入して下さい。

③ 「使用方法」

②で列挙した原料別にその用途を記入して下さい。複数の用途のあるものについては用途毎に記入して下さい。

④ 「1日当りの使用量」

原料別に1日当りの平均使用量を記入して下さい。

⑤ 「備考」

成分、交換の頻度等参考事項を記入して下さい。

3 汚水の処理の方法

イ. 汚水の処理施設（除害施設）の設置場所（添付図－1 のとおり。）

ロ. 汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 年 月 日

工事完成予定年月日 年 月 日

使用開始予定年月日 年 月 日

ハ. 汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種	類	型	式	構	造	主	要	寸	法	能	力（m ³ /日）	処	理	の	方	法	備	考	

ニ. 汚水の処理の系統（添付図－2 のとおり。）

ホ. 汚水の集水及び汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法（添付図－1 のとおり。）

別紙（3）－2

へ. 汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当り使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設の名称（除害施設）	使用時間間隔	1日当りの使用時間	季節的変動の概要	備考

ト. 汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当りの用途別使用量

処理施設の名称（除害施設）	消耗資材名	用途別	1日当りの使用量	備考

チ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残さの種類	生成量（t/月）	処理の方法の概要	備考

リ. 汚水を公共下水道へ排除する方法（排水口の位置及び数並びに排出先を含む。）（添付図-1のとおり。）

ヌ. その他参考事項

除害施設建設費 万円

別紙（3） 記入上の注意

- イ 「汚水の処理施設（除害施設）の設置場所」 添付図-1 に記入して下さい。
- ロ 「汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日始」
除害施設の新設又は構造等の変更の場合に記入して下さい。
- ハ 「汚水の処理施設（除害施設）の種類、形式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方法」
① 「種類」 除害施設の名称は処理対象汚水、処理機能などから判断し記入して下さい
② 「形式」・「構造」・「主要寸法」 除害施設を構成する各種装置別に記入して下さい。
③ 「能力」 設計上の能力1日（稼働時間）当りの数値を記入して下さい。また、槽などは有効容量を記入して下さい。
④ 「処理の方法」 汚水の種類毎に方法名を記入して下さい。
- ニ 「汚水の処理の系統」 処理の概要を記入し、添付図-2 に処理系統を色分けして下さい。
- ホ 「汚水の集水および汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法」 汚水の集水及び導水の概要を記入し、添付図-1 に系統別に色分けして下さい。
- ヘ 「汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」
① 「処理施設（除害施設）の名称」 名称は3汚水の処理の方法ハの種類と同じ名称を記入して下さい。
② 「使用時間間隔」 除害施設の稼働時間帯を記入して下さい。間欠式運転の場合はそれぞれの時間帯を記入して下さい。
③ 「1日当りの使用時間」 1日当りの除害施設の延べ運転時間を記入して下さい。
- ト 「汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当りの用途別使用量」
① 「消耗資材名」 除害施設の稼働に必要な薬品等を記入して下さい。この場合、電気、上水、ガスは記入しないで下さい。
② 「用途別」 消耗資材別に用途を記入して下さい。1つの資材で複数の用途のあるものについてはそれぞれ記入して下さい。
③ 「1日当り使用量」 消耗資材別の量を記入しますが、薬品の場合は、その濃度を記入して下さい。
④ 「備考」 消耗資材のメーカー及び薬品の使用濃度を記入して下さい。
- チ ① 「残さの種類」 除害施設から生ずる各種廃棄物を記入して下さい。この廃棄物は通常汚泥ですが、その他に廃油、廃酸・廃アルカリなどがありますので残さの種類毎に分けて記入して下さい。
② 「生成量」 残さの種類毎に生成量を記入して下さい。（除害施設の設計上の能力から判断し、推定量を記入することもできます。）なお、量には必ず水分、油分などの割合をあわせて記入して下さい。
③ 「処理方法の概要」 残さの種類毎に、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入して下さい。また、産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付して下さい。
- ヌ 「その他参考事項」 除害施設の建設費及び調達資金の内訳を記入して下さい。
- ル 「汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量」
① 「汚水量」 除害施設での処理系統が複数である場合は、その系統毎に汚水量を記入して下さい。（この汚水量は除害施設の処理前後の水量のことであり、特定施設からの汚水量とは一致しない場合があります。）
② 「処理前水質」 作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入して下さい。
③ 「処理後水質」 ②と同様に記入して下さい。

5 用水及び排水の系統

イ．用水及び排水の系統（添付図－1 のとおり。）

ロ．用途別用水量（単位 m^3 ／日）

水源別用水量							
総使用量	公共用水道		その他				海 水
	工業用水道	上水道	地表水	伏流水	井戸水	その他	

用途別用水量					
ボイラー用水	原料用水	製品処理用水 及び洗浄用水	冷却用水	温調用水	その他

記入上の注意

- (1) 「用水及び排水の系統」
添付図－1 に用水系と汚水系を色分けし公共下水道へ接続する排水口の位置等を明示し記入して下さい。
- (2) 「用途別用水量（単位 m^3 ／日）」
水源別及び用途別用水量を各々について通常（日平均）と認められる量を記入して下さい。

別紙（6）

参 考 事 項

資 本 金	円	従 業 員 数	人
主 要 製 品		操 業 時 間	時～ 時
敷 地 面 積	m ²	建 物 面 積	m ²
担 当 部 課 係 電 話		担 当 者	

付近見取図（案内図）

記 入 上 の 注 意

- (1) 「従業員数」
届出の対象となっている事業場の従業員数を記入し、本社等がある場合は全従業員数を（ ）内に記入して下さい。
- (2) 「付近見取図（案内図）」
事業場の付近の道路、目印となるもの及び鉄道等をわかりやすく記入して下さい。
住宅地図の写し等でも構いません。

添付図－ 1

事業場平面図

特定施設を含む操業の系統